

慶應義塾大学教養研究センター主催

2014年度 実験授業「日吉学」

～日吉で遊ぶ 日吉を学ぶ～

家とキャンパスの往復だけでは飽き足りないキミ！
日吉の秘境を一緒に探検しませんか？全コースを受講
すると「日吉学修了証」が発行されるよ (≧▽≦)

第1回	2014年4月26日(土)	13:30~17:00
第2回	2014年5月10日(土)	13:30~17:00
第3回	2014年5月17日(土)	13:30~17:00
第4回	2014年6月7日(土)	13:30~17:00
第5回	2014年6月14日(土)	13:30~17:00
第6回	2014年6月21日(土)	13:30~17:00
第7回	2014年6月28日(土)	13:30~17:00

(一回のみの参加も可能です。)

各回のコース詳細は裏面をご参照ください。

集合場所：慶應義塾大学日吉キャンパス 第4校舎B棟2階22番教室

開始時間：13:30(時間厳守)各回とも、フィールドワーク(90分)+グループワーク・
質疑・講義を予定しています。

受講資格：塾生(中学生～大学院生)※申込み多数の場合は抽選いたします。

申込み先：教養研究センターHP <http://lib-arts.hc.keio.ac.jp/event/478>

申込締切：2014年4月20日(日)

備考：参加費無料・雨天決行



☆ 当日は、13:30 までには必ず集合してください。時間厳守です！

☆ 歩きやすい靴、温度調整のできる服装でご参加ください。

☆ 筆記用具、デジカメやカメラ付き携帯電話、飲み物、懐中電灯(第6回のみ)をご持
参ください。

お問い合わせ：慶應義塾大学教養研究センター：toiawase-lib@adst.keio.ac.jp

<「日吉学」コース概要>

第1回 2014年4月26日(土) 13:30~17:00

テーマ:「個人のアイデアを融合して革新的なアイデアを生み出すには？」

講演: 神武直彦先生(イノベーション創出プロセスデザイナー)

日吉学では、毎回、日吉キャンパスを中心に、参加者がグループになってフィールドワークを行います。同じものを見たり、聞いたり、触ったりしたとしても、得られる気づきは様々です。そのため、それらの気づきをグループワークで共有することで、それぞれの参加者は新たな気づきを得ることができます。更に、その気づきの共有のためのプロセスや手法によっては、複数の気づきの融合によって、思いもよらない新たな気づきを得られることがあります。このワークショップでは、大学院システムデザイン・マネジメント研究科で開発しているシステム思考とデザイン思考を融合した「アイデアを掘り、磨き、集合知にするプロセスと手法」を紹介し、実際に体感頂きます。グループワークで、それぞれの気づきやアイデアを共有して1+1を3にも4にもしたい方にはお勧めのワークショップです。第2回以降のグループワークでも活用頂くことを念頭に解説致します

第2回 2014年5月10日(土) 13:30~17:00

テーマ:「日吉の森のホットスポットを探そう」

ガイド: 福山欣司先生(カエル博士) 長沖暁子先生(森のエルフ) 有川智己先生(コケ博士)

ホットスポットとは、生き物が一番賑やかな場所のことです。このプログラムの目的は、日吉の森の生き物ホットスポットを見つけることです。グループごとにターゲットを決めて森に出かけます。歩きながら、花やシダや虫などターゲットの生物を探します。目的の生き物を見つけたら種類と場所を地図に記録し、デジカメやスマホで撮影します。観察から戻ったら地図に見つけたものをプロットし、グループ全体でまとめれば、日吉の森のホットスポットが分かるはずですよ。

第3回 2014年5月17日(土) 13:30~17:00

テーマ:「日吉の森のランドマークを決めよう」

ガイド: 福山欣司先生(カエル博士) 長沖暁子先生(森のエルフ)

日吉の森の一番美しい風景を探すのがこのプログラムの目的です。グループごとに別々の場所を歩き、森の樹木の種類を調べながら、自然風景を観賞します。ここは人に紹介したい!という場所(ランドマーク)を見つけたら、地図に情報を書き込み、デジカメやスマホで画像を記録しましょう。森から戻ったら地図にどんな樹木の森かが分かるように塗り絵にして、写真を貼り、お薦めのランドマークを決定します。最後にグループごとの地図を1つにまとめます。

第4回 2014年6月7日(土) 13:30~17:00

テーマ:「探せ!日吉の「スリバチ地形」」

講演:皆川典久先生(東京スリバチ学会会長)

石川初先生(東京スリバチ学会副会長、GPS 地上絵師)

ガイド:太田弘先生(マップコミュニケーター) 高橋傑先生(歴史フィールドウォーカー)

今年の「日吉学」ではこの東京の凸凹の地形観察を市民の目線で地形観察するグループの代表とも言える「東京スリバチ学会」の頭脳と「日吉学」の講座のメンバーとのコラボレーションで「日吉の地形」を観察・分析をします。ワークショップでは地形図から丹念に等高線を読み、実際の地形の特徴である傾斜を詳細に取り、現地を訪れ調べます。現在、「日吉の谷」はどの様に使われ、また台地の上はどの様な使われ方をしているのか? 日吉の地形を事例に「スリバチ法則」を適応してみたいと思います。

第5回 2014年6月14日(土) 13:30~17:00

テーマ:「描こうGPS地上絵」

講演:皆川典久先生(東京スリバチ学会会長)

石川初先生(東京スリバチ学会副会長、GPS 地上絵師)

ガイド:太田弘先生(マップコミュニケーター) 高橋傑先生(歴史フィールドウォーカー)

GPSは地球の周囲を周回する数十個の人工衛星を用いて地球上の位置を緯度と経度で正確に測定できる最先端の軍事機材です。現在ではその受信機が携帯電話や小型のデジタルカメラにも標準に装備され、これを持って地上を歩くとその結果得られたGPSの位置の航跡で地上絵を描くことができます。今回、このGPSの軌跡データを用いて描く地上絵のスーパー絵師を講師に、「日吉学」でも日吉と周辺でこの手法で地上絵をグループで描いてみたいと思います。その際、慶應義塾と日吉、日吉の地理や歴史、日吉の自然など、日吉の街の特徴をうまく表現する地上絵を描くことを目指したいと思います。さあ、GPSレシーバーを持って日吉の丘に集まろう。

第6回 2014年6月21日(土) 13:30~17:00

テーマ:「探訪、日吉の戦争遺跡」

ガイド:安藤広道先生(慶應のインディ・ジョーンズ) 大西章先生(日吉の爱因斯坦)

都倉武之先生(福澤センターのエース)

日吉キャンパスには、巨大地下壕群をはじめ、アジア太平洋戦争末期にこの地が帝国海軍の秘密基地だったことを物語る、数々の遺跡があります。この回では、地下壕や寄宿舎などの戦争遺跡を実際に見て歩き、戦局が悪化の一途をたどるなか、なぜ日吉キャンパスに海軍がやってきたのか、なぜ地下壕のような巨大な施設が作られたのかを考えてみます。

第7回 2014年6月28日(土) 13:30~17:00

テーマ：「日吉で学ぶアジア太平洋戦争」

ガイド：安藤広道先生（慶應のインディ・ジョーンズ）大西章先生（日吉のインシュタイン）
都倉武之先生（福澤センターのエース）

この回では、日吉の海軍で働いた経験を持つ方々をお招きして、当時のことをお話し
いただく予定です。そのうえで皆さんには、前回の戦争遺跡巡検の体験と合わせ、こ
れからの若い世代がアジア太平洋戦争の歴史とどのように向き合っていくべきか、ま
た戦争の遺跡や体験を保存・継承する意義はどんなところにあるのか、を考えてもら
いたいと思います。